

# 平成29年度 教育警察常任委員会管外視察の概要

■視察日 平成29年10月17日（火）～19日（木）

■視察者 教育警察常任委員（5名）  
浦田祐三子（委員長）、高木健次（副委員長）、小早川宗弘、  
磯田 毅、吉田孝平

■視察先 ①おぢや震災ミュージアムそなえ館（新潟県小千谷市）  
②新潟県立柏崎工業高等学校（新潟県柏崎市）  
③新潟県教育委員会（新潟県新潟市）  
④新潟東警察署（新潟県新潟市）  
⑤新潟県警機動隊広域緊急救助隊（新潟県新潟市）  
⑥新潟県健康づくり・スポーツ医科学センター（新潟県新潟市）  
⑦ECOスタジアム新潟（新潟県新潟市）

■視察目的 新潟県は、平成16年に中越地震、平成19年に中越沖地震を経験し、その後、復旧・復興のため、様々な施策を実施し、実績を挙げています。教育・警察の分野で、その現状と課題を視察し、今後の委員会審議に資するため。

## ■視察の概要

### ①おぢや震災ミュージアムそなえ館

同施設では、地域を担う防災人材、特に子どもたちを対象に、防災学習研修を通して災害体験の伝承を目指しているとの説明がありました。

地震の経験をどう活かし、伝えていくか等について意見交換を行うとともに、地震の発生から、避難、復旧と時系列に展示してある同施設の見学を行いました。



### ②新潟県立柏崎工業高等学校

同校では、地震の経験を踏まえ、防災マインド育成と地域貢献を目標に、工業高校の特色を活かしたキャリア教育と防災・減災教育を推進しており、平成21年度に新たに「防災エンジニアコース」を電気科に設置し、災害時に地域社会から必要とされる電気系技術者の育成を目指しているとの説明がありました。

工業高校での防災教育、地域とのかかわり等について意見交換を行うとともに、各科の授業、校内の施設設備を視察しました。



### ③新潟県教育委員会

新潟県では、地震や洪水、豪雪などの大規模災害の経験や教訓を次世代に伝承するため、新潟県防災教育プログラムを作成し、新潟県内の全小・中・高校に配付し、活用しているとの説明がありました。

また、平成31年開設を目指し、整備を進めている新潟県立武道館のこれまでの検討経緯、整備方針等について意見交換を行いました。



### ④新潟東警察署

新潟市が政令指定都市に移行したことに伴い、これまで警察署がなかった東区に、本年9月に新設された同署は、来庁者に優しく、災害に強い設計であり、また、区役所に隣接しており、市民の利便性が増したとの説明がありました。

警察署の整備計画等について意見交換を行うとともに、署内の施設設備を視察しました。



### ⑤新潟県警機動隊広域緊急援助隊

広域緊急援助隊は、県警の枠を超えて、災害時に広域的に即応できる部隊で、本年4月には、部隊内に特別救助班(P-R E X)も設置され、これは国内はもとより、国際緊急援助隊への参加も視野に入れており、日本海側では唯一の設置であるとの説明がありました。

大規模災害における警察活動等について意見交換を行うとともに、広域緊急援助隊の装備を視察しました。



### ⑥新潟県健康づくり・スポーツ医科学センター

同センターは、県民の健康づくりの実践的指導、生活習慣の改善と、アスリートの競技力の向上のための動作分析や体力測定等を行うことを目的とし、活動には常に医療がサポートしていることが特徴であるとの説明がありました。

拠点施設としてのセンターの取り組みを全県的に波及させる方法等について意見交換を行うとともに、測定機器、施設を視察しました。



## ⑦ECOスタジアム新潟

新潟県内初の全面人工芝の野球場であり、野球だけでなく、コンサート等の誘致にも力を入れており、設備では、ロッカールーム、室内練習場の広さが好評で、冬季は室内練習場だけの利用も多いとの説明がありました。

改良を検討している本県野球場の参考とするため、整備の経緯等について意見交換を行い、施設を視察しました。

